



元氣とタイムリーな情報を提供する

五十嵐レポート

発行:「町コン」五十嵐 勉 2025年04月14日 第1213号「週刊五十嵐レポート」

日本の強み

4月7日付日経新聞夕刊、「日本『信頼できる』7年連続首位」という記事。

シンガポールのシンクタンク、ISEASユソフ・イシヤク研究所が発表した2025年の調査で日本は「信頼できる国・地域連合」で7年連続1位となった。調査は東南アジアの民間企業や政府・研究機関などに所属する識者を対象。

日本が「信頼できる」と回答した割合は66.8%。欧州連合(EU)は51.9%。米国は47.2%。日本を信頼する理由として、国際法の順守、経済力を上げる人が多かった。

4月12日付日経新聞、「訪れたい国、日本首位」という記事。同じくシンガポールのシンクタンク、ISEASユソフ・イシヤク研究所によると、東南アジア諸国連合(ASEAN)の人々が訪れたい国は、日本が首位だった。2025年調査で日本と回答した人は全体の33%で、前年(30%)から更に人気が高まった。ASEAN加盟10カ国のうちミャンマー以外のすべてで日本が首位。日本文化への関心のほか、円安の進展も背景にある。

4月9日付日経新聞、「旅行収支5600億円黒字」という記事。インバウンド(訪日客)の増加で旅行収支の黒字が拡大し、「デジタル赤字」を打ち消すまで膨らんだ。2月は約5600億円の黒字と同月として最大。(訪日客の消費額から日本人が海外で使った金額を引いたのが旅行収支)クラウドといったデジタルサービスの海外への支払いによる「デジタル赤字」を取り返せる規模に拡大。

海外に行くと、日本と世界との違いに気づく。15年前にベトナム視察したとき、日本の家電製品が韓国・中国製品に駆逐されるのを見た。今回、中国では中国製電気自動車(ガソリン車)を駆逐しているのを見た。時々刻々と勢力図が変わってくる。しかし、ホテルのサービスやおもてなしの部分は日本の方が凌駕(りょうが)していると思われる。

日本の強みと弱みが見えてくる。日本の強みは何か。ベトナムの時も感じたが、韓国・中国が「剛」。日本は「柔」と「和」。同じように自社の強みは何か。それを深掘りする。

ちょっと
気になる出来事

4月9日付日経新聞、「池上彰の大岡山通信」若者たちへ、は「新聞を読んでもみよう」。

池上氏が愛読しているコラムは「私の履歴書」。功成り名を遂げた人たちが、どのような体験を経て現在に至ったのかを知ると、多くの人が若い頃に挫折したり、大変つらい思いをしてきたことがわかる。最初から順風満帆などという人生の人はいない。

さらに文章の書き方を学んでも役に立つ。「私の履歴書」の連載冒頭では、その人の現在の姿が描かれる。2回目以降は幼少の頃にさかのぼって話が展開する。まずは現在の姿や仕事の様子を知ってもらってから過去に戻る。まずは現状を紹介する。それからこれまでの道のりを説明する。この構成がわかりやすく面白い読み物になる。

25年3月「私の履歴書」は尾身茂氏(結核予防会理事長)。2020年からのコロナ禍における対応が切々に書かれていた。25年4月平井一夫氏(ソニー社長)の企業の立て直しが書かれている。生き方、経営手法のヒントが満載。中小企業の社長は新聞を読まない人が少なくない。残念である。



一口メモ
知識

未完成に終わる

易経六十四卦(か)は火水未済(かすいびせい)という未完成の時を説く卦を最終に置いている。

完成を終わりとして満足しては、発展がない。人は、自分が未完成であると気づくと謙虚になり、努力成長しようと思う。

未完成であれば、窮(きわ)まりなく成長し続ける。人は常に新たな志を持ち、どこまでも伸びゆくべきである。

「易経一日一言」(致知出版/竹村亜希子)より

●「戦略社長塾東京」小岩校 毎週日曜日・水曜日 午前10時~12時

●「戦略社長塾東京」銀座校、武蔵村山校、豊岡校 開講中。

㈱五十嵐コンサルティングオフィス 〒133-0051東京都江戸川区北小岩6-21-5

TEL03-3659-7703 Fax03-3659-7077 info@igarashireport.com

